

TOKYO Medical Biobank に血液検体をご提供いただいた方へ

- 研究の名称 神経変性疾患における高感度マルチプレックスイムノアッセイの検討
- 研究の対象 2021年12月1日から2026年3月31日までにTOKYO Medical Biobank に血液検体をご提供いただいた方の内、神経変性疾患（アルツハイマー病、パーキンソン病、レビー小体型認知症、前頭側頭型認知症、進行性核上性麻痺、大脳皮質基底核症候群、筋萎縮性側索硬化症、多系統萎縮症、神経核内封入体病、意味性認知症など）の診断となった方 または 2021年12月1日から2026年3月31日までに神経症状なく TOKYO Medical Biobank に血液検体をご提供いただいた方の内、簡易的な認知機能検査で正常だった方。
- 研究の期間 研究倫理審査委員会承認日～2030年12月31日（解析期間含め）
- 研究の目的
神経変性疾患の中には、生前に正確な早期診断を行うことが難しいものも少なくありません。また発症する仕組みや病態のメカニズムが十分に解明されておらず、治療法がない難病も多くあります。疾患の早い段階から変化し病態と関連するバイオマーカーを見つけることが出来れば、早期診断や疾患のより深い理解につながる可能性があります。そこで、本研究では近年開発された、多くのタンパク質を一度に高い精度で測定することができる高感度マルチプレックスイムノアッセイを用いて、各種の神経疾患における新たなバイオマーカーを明らかにすることを目的とします。
- 研究の方法
2021年12月1日以降に同意いただきご提供いただいた、バイオバンクで凍結保管している血液検体を用いて高感度マルチプレックスイムノアッセイを行います。それぞれの神経変性疾患に着目し、健康な方と比べて有意な変化を認めるタンパク質を明らかにします。
また、見つかったタンパク質については、年齢や性別、重症度などの臨床情報とどのような関係があるのかを調べます。
- 研究に使用する試料・情報
情報：年齢、性別、既往歴・合併症、併用薬、病歴、身体所見、臨床診断名
他の検査結果（血液検査、脳脊髄液検査、画像検査、病理検査など）
試料：血液（血漿）、脳脊髄液（保管検体がある場合のみ）
- 個人情報の保護
本研究ではTOKYO Medical Biobankまたは別途研究用 ID が付与された試料・情報を利用します。この ID は個人を識別できる情報とは無関係の数字記号等で構成されます

ので、個人が特定されることはありません。個人情報を取り扱う当センター内の区域は明確に区切られ、入退室の管理が徹底されています。また個人情報を取り扱うサーバーへのアクセスは、当センター内の認められた者のみで行います。

尚、本研究では、解析のために匿名化された試料を共同研究機関である 米国ウィスコンシン大学マディソン校（University of Wisconsin-Madison）に送付し、バイオマーカー測定を行います。提供する試料および情報には、氏名などの個人を特定できる情報は含まれません。試料・情報は研究用IDにより管理され、個人が特定されることはありません。

●資料の入手または閲覧、開示

本研究の計画や方法については、あなたのご希望に応じてあなた自身の資料の要求または閲覧ができます。今回測定するバイオマーカーはまだ臨床的意義が確立していない段階なので研究対象者一人一人に結果をお伝えできる段階にないと考えていますが、今後研究が進みその意義がある程度確立した段階となり、あなたがご自分の研究結果を知りたいと希望される場合は、研究担当者にその旨をお伝えいただければ、ご希望に添えるように努めます。

また、研究への協力撤回を表明された場合は、速やかに研究での利用を停止いたします。研究に協力されない場合でも不利益な扱いを受けることはございません。しかしながら、すでに研究に使用されていた場合には、結果の削除など十分なご対応ができない場合がありますことをご了承ください。

●研究組織

東京都健康長寿医療センター 脳神経内科 栗原 正典（試料・情報の管理、解析）
脳神経内科 岩田 淳（研究の指導）
脳神経内科 嶋崎 亮介（解析）

ウィスコンシン大学マディソン校 アルツハイマー病研究センター

Henrik Zetterberg、Rachael Wilson、Przemyslaw Kac（測定、解析）

●お問い合わせ先

〒173-0015 東京都板橋区栄町35番2号

東京都健康長寿医療センター 03-3964-1141（内線 64362）

連絡先：脳神経内科/認知症未来社会創造センター 栗原 正典

（平日8：30～17：00）